

地域少子化対策強化事業実施計画書（米子市）

市 町 村 名	米子市
事 業 名	米子市少子化対策強化事業
事業の趣旨・目的	結婚前の段階から結婚・妊娠・出産・育児に関する知識等の啓発・情報提供を行う。
実 施 期 間	平成26年3月31日 ～ 平成27年3月31日
所 要 見 込 額	2,500,000 円
地域の実情と課題	結婚・妊娠・出産・育児に関する知識等についてトータル的な情報発信ができていない。
事 業 内 容	1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 県事業計画の以下の事業の実施にあたり、県と連携する。 ○ シニア世代の孫育て事業 ○ 少子化対策理解促進啓発フォーラム（仮称）開催事業
	2 結婚に向けた情報提供等 ヨネギーズ赤ちゃんファミリー応援大学事業 2,500千円（詳細は別紙1のとおり）
	3 妊娠・出産に関する情報提供 県事業計画の以下の事業の実施にあたり、県と連携する。 ○ とっとり若者研究会（仮称）事業
	4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 県事業計画の以下の事業の実施にあたり、県と連携する。 ○ 子育てしやすい環境整備促進事業 ○ 産前・産後ケアの実態調査・研究事業 ○ 子育てしやすい環境整備促進事業
事 業 の 効 果	結婚、出産、育児に不安を抱いている若年齢のものの不安を取り除き、結婚・妊娠・出産・育児の正しい知識を伝え、ひいては少子化対策に寄与できる。
他の補助金の活用 の有 無	無
都 道 府 県 と の 連 携 方 法	（1）当該セミナー開催について、県のノウハウや情報提供を受ける。 また、セミナー開催の広報等協力して行う。 （2）県と意見交換する等、今後の保護者支援の充実に向けて協力していく。

（注）

- 「所要見込額」には、地域少子化対策強化事業実施計画全体の対象経費支出予定額を記入すること。
- 「事業の趣旨・目的」には、実施要領別記第1の1～4を通じて、達成できる目的や事業全体の構成の趣旨を記入すること。
- 「事業内容」には、本交付金の対象事業のみならず結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」のための事業計画に含まれる既存事業や他の補助金等を活用した事業についても記入すること。
- 「事業内容」には、個別事業名、個別事業の趣旨・目的、個別事業の実施期間、個別事業の所要見込額及びその積算内訳も適宜記入すること。
- 「事業の効果」には、個別事業によって得られる効果の列挙、若しくは、事業全体を通じて得られる効果、又は、その双方を適宜記入すること。
- 「他の補助金の活用の有無」には、この事業計画において他の補助金を活用される場合、活用する補助金名、その事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記入すること
- 記入しきれない場合は、別様とすることも差し支えない、また、適宜参考となる資料を添付すること。

## ヨネギーズ赤ちゃんファミリー応援大学事業

## 【趣旨】

結婚前の段階から結婚・妊娠・出産・育児に関する知識等の啓発・情報提供を行う。

## 【内容】

年間10回を目途に、結婚・妊娠・出産・育児に関するトータル的なセミナーを開催する。  
 セミナーの内容は、女性の体の仕組み（子宮の老化・卵子の老化）、結婚・出産にまつわる法律入門、妊娠・出生の奇跡（体の変化・不妊）、親になる責任（母になること・父になること）、フィナンシャルプランナーによる子育てとお金、猿から人間へ赤ちゃんの成長、親も子もすくすく育つために（体は自分が食べたもので成り立っている）、マタニティヨガ・ベビーヨガ など

## 【対象者】

高校生以上とし、全回出席を基本としつつ随時参加を受け付ける。

## 【対象経費】

賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料  
 内訳は、以下のとおり

賃金	講演会開催案内作成、受講者リスト作成、受講者カード作成、受講者台帳整理、講演会当日会場設営、受付、片付け、アンケート集計などアルバイト的経費 $@7,000 \text{ 円} \times 10 \text{ 日} \times 10 \text{ 回} = 700,000 \text{ 円}$
報償費	メイン講演会講師謝金（著名人を講師に招き、本セミナーの中心となる講演会を実施する。第8回を特別講演会とする。） $@300,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} = 300,000 \text{ 円}$
	地元有資格者講師謝金 $@50,000 \text{ 円} \times 9 \text{ 回} = 450,000 \text{ 円}$
旅費	メイン講演会講師旅費及び宿泊費 $@90,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 回} = 90,000 \text{ 円}$
需用費	消耗品費、印刷製本費 500,000 円
役務費	通信運搬費 10,000 円
委託料	メイン講演会の企画・実施・運営に係る委託（講師の謝金、旅費を除く） 350,000 円
使用料及び賃借料	100,000 円
合計	2,500,000 円

## 【延べ参加人数（見込み）】

1,400 人（メイン講演会 500 人×1 回、それ以外のセミナー 100 人×9 回）

## 【セミナーの内容】

- 第1回 結婚ってなあに？（未来のパートナーシップを考えてみよう）
- 第2回 女性の体の仕組み（子宮・卵子の老化ってどゆこと？精子は？）
- 第3回 妊娠・出産の奇跡（妊娠したら体はどうなるの？不妊ってどうしてなるの？）
- 第4回 結婚・出産にまつわる法律入門（知っておかないと損する法律のお話）
- 第5回 親になる責任（母になること、父になること）
- 第6回 赤ちゃんの成長（猿から人間への進化）
- 第7回 親も子もすくすく育つために（体は食べたもので成り立っているんだよ）
- 第8回 フィナンシャルプランナーによる子育てとお金

（メイン講演会） 　　（いつ頃どんなお金がかかるの？節約法は？）  
ある調査によると、子育てがづらい、楽しめない理由の第1位は、「お金がかかるため」であり、同じ理由で「もう1人」をあきらめたり、子を持つことを断念する人がいるという事実がある。

子育てについての、いつ頃どんなお金がかかるのか、その節約法、教育資金の準備法、家計管理術など、お金の問題をすっきりさせて、「子を持つ自信を持ってもらうこと。」「子育てを楽しんでもらうこと。」このことにより、少子化に寄与できる講演会とする。

また、特別講演会とすることで、広くPTAや生涯学習部門にも参加を呼びかけて実施

- 第9回 税金のお話 （年末調整、確定申告は誰のため？）
- 第10回 マタニティヨガ・ベビーヨガ（まずは体験してみよう！沐浴体験もしてみちゃおう！）

## 【事業効果】

結婚、出産、育児に不安を抱いている若年齢のものの不安を取り除き、結婚・妊娠・出産・育児の正しい知識を伝え、ひいては少子化対策に寄与できる。

## 【先駆性】

既存事業としてプレマタニティスクール（高校生を対象）、マタニティスクール（妊婦を対象）、やんchaっこ教室（2歳児までを対象）、おやこ学級（就学前までを対象）など、それぞれターゲットを絞った知識の普及・啓発、情報提供事業は行っていたが、人の一生のうち、結婚前から妊娠・出産・育児という人生の輝かしい時期を多方面からの切り口で情報発信を行うことは、近隣市町村には前例がなく、他市に先駆けて行うことで、広く少子化に寄与できる事業である。